

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

# 津田沼でストライキを！



7月26日、津田沼支部は乗務停止になった仲間の激励会を開催。団結を打ち固め、反撃を誓い合う！

## 人を人とも思わぬ当局に怒り！

### 津田沼支部通信員発

#### たて続けに四名の仲間を乗務停止！

全支部の仲間みなさん！今、津田沼支部に  
対して、支部破壊の攻撃が吹き荒れています。

七月二八日、新たに一名の仲間が乗務停止攻撃を受け、この一ヶ月あまりの間にたて続けに支部長をはじめ、四名もの仲間が、乗務を停止されています。しかも、そのやり方は、あらかじめ乗務停止させるメンバーを決めて、交番をつけまわすというやり方がおこなわれています。理由は全て「カーテン・アゴヒモ・反抗的態度」によるものです。しかし、真の理由が「カーテン・アゴヒモ問題」などではないことは明らかです。ほんとうの狙いは、津田沼支部の弱体化、支部破壊です。

#### カーテン・アゴヒモの相互監視を粉碎

当局は、乗務停止攻撃を開始した直後、七月十一日からは、同じ職場で働く運転士をつかって、業務指示によってカーテン・アゴヒモのチェックを開始させたのです。乗務員の仲間どおしを互いに監視させ、密告者にしたて、最もきつくないやり方で、団結と職場の闘いを切り崩そうとしたのです。乗務員を駅に立たせ、カーテンやアゴヒモのチェックをさせることが何故「業務」なのでしょう。

支部は、この前代未聞の相互監視攻撃に対し、ストライキをも辞さぬ決意をこめた嚴重な抗議行動によって、七月二三日には中止させるといふ重大な成果をかち取りました。

しかし、当局はその直後に、また新たな乗務停止攻撃を加えてきたのです。

「食事と便所以外で出てくるな！」  
三名の仲間を監禁

現在、乗務停止攻撃を受けた三名の仲間たち（一名は回復）は、連日講習室や訓練室で監禁状態におかれています。反動助役代古にいたっては、「食事と便所るとき以外は出てくるな」と言い放ち、部屋から出ると「〇時〇分」と賃金カットの恫喝までおこなうという状態です。まさに、支部長をはじめ、支部の役員活動家を見せしめ的に監禁し、組合員から引き離しておくこそが目的であることが鮮明となりました。組合潰しのためには、労働者を人間あつかいにもしない反動当局を断じて許すわけにはいきません。

#### 石川・代古ら反動助役を許すな

とりわけ、自己保身のために鉄道労連革マルや河野の言いなりになった反動職制たちの横暴ぶりを断じて許す訳にはいきません。「過員活用」として、「車内清掃」を指示していた乗務員に、業務指示でふる掃除から区内の草かり、ドブさらいまでを強制する。（石川・代古）「入出区の車両には制服を着ていても乗ってはいけない」と監視をつけてチェックまでしておきながら、助役が私服で乗っていた事実をつきつけられると「あんたは同じことを何回言うんだ。私がいつ乗ったか日にちを言ってみろ！」と居るおる。（石川）乗務員には、乗り出しや退区までの準備時間でもサンダルをはいてはだめだと、メチャクチャなしめつけをしておきながら、自らは平然とサンダルばきで仕事をし注意されると居直る。（石川）「今度カーテン・アゴヒモを見つけたらその時点で乗務停止だ。これが最後通告だ」とヤクザのようなおどしをかけてまわる。（代古ら）

等々、まさにマンガ以下の異常な職場支配が続いているのです。  
強制配転攻撃以来の組合潰し攻撃は、まさに目にあまるものです。そしてこの攻撃は、現在も、より陰險なかたちで続いています。当局があくまでも組合潰しを一切に優先させ、暗黒の職場支配をおこなおうとする以上、われわれは、ストライキで起ちあがる以外にありません。津田沼支部は断固としてストライキで決起する決意です。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！